



## ★何して遊ぶ？

子供と遊ぶのが好きな人、自分が夢中になってしまう人、ちょっと苦手な人、めんどろだなあ、疲れるなと感じる人・・・いろいろだと思います。



わたしが子供の時(昭和50年代)は、近所にたくさんの子供がいたので、少し年上から年下の子まで混じって遊んでいました。(いまでは、安全面からとても考えられませんが、よちよち歩きの子供も混じっていたと思います。)特に約束をしなくても、外に出ているとほか子供もやってきて自然発生的に遊んでいました。ままごとだったり、ゴムとびだったり、おにごっこやかくれんぼなどなど。なんだか理由はわかりませんが、ひたすらタンポポの根を掘り起こした記憶もあります。遊んでいるうちに、喧嘩になったり、グループができて分裂したり。小さい子がおもらしたり、転んでけがをしたり。アクシデントも起こりましたが、幸い大事に至らずに過ごしていたように思います。遊び場も整備された所はなく、空き地や堤防、田んぼのあぜ道や林、公園、校庭などさまざまでした。

今のように、親と子供が遊ぶという場面はなかったと思います。語弊があるかもしれませんが、わたしの場合、ほったらかし状態でした。「私の親は心配ではなかったのだろうか?」と疑問なのですが、世間全体がそのような感じだったのかもしれませんが。夕方5時には家に帰るということは、皆、暗黙の了解でした。時計をもっていませんでしたが、案外、ちゃんとその時間に家に入ってテレビマンガを観るのが日課でした。

一方、私の子育て(平成)は、とにかく事故が起こってはいけないと思い、目を離さないようにしてきました。お友達と遊ぶときも連絡方法などを確認して送り出しました。過保護なのかもしれませんが、危険回避は必要かと思います。また、子供といろんなことをして遊びました。基本的に自分のやりたいことを子供にすすめていたように思います。どろんこ遊びとか、畑で野菜を育てる、庭にビニールプールをおいて水遊び、シャボン玉、工作、積木、雪遊び、粘土、お絵かき、お菓子づくり・・・図書館も行きました。子供のころ本を読まなかった分、大人になったら絵本や児童図書がとっても楽しいことに目覚めてしまったのです!

社会の状況は変化し、子供だけで遊ばせることは安全管理上も難しいと思います。大人が見守りに徹して子供同士で育ちあう環境と、大人も一緒になって楽しむ場面の両方が、バランスよく与えられるといいのかなあとと思います。「バランスよく」が一番難しいのですが。



## 今月の手づくりおやつ

- 1 ホットケーキの生地を作り、サラダオイルをひいて温めたフライパンに直径8cmほどの円形に流し込みます。
- 2 表面がプツプツしてきたら入れたい具をのせます。
- 3 生地の上縁が焼けて固まってきたら裏返して焼きます。  
甘いのもしょっぱいのもあると楽しいです。  
竹串を刺してみても、生地がくっついてこなければ焼き上がりです。

### 材料

ホットケーキミックス  
牛乳  
卵  
サラダオイル  
入れたいもの  
(あんこ、チョコレート、チーズ、ソーセージやハム、リンゴやバナナなど)

